

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！  
京都市議員



発行：2021年2月14日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

# 市民の宝「敬老乗車証制度」は今のままで

## 18回目の署名提出。総数は54,480筆!!



2月4日に「敬老乗車証守ろう！連絡会」が18回目の署名を提出されました。今回は7,921筆の署名が提出され、合計は5万4,480筆に上ります。京都新聞が報道した「75歳からにする」「負担金の増額」などの改悪内容はまだ何も決まっていません。

京都市は「制度を持続可能なものとするため」として「ICカード化と応益負担の導入については、技術革新も踏まえ、より効果的な導入方法を

研究するため延期」として、来年度半ば以降に検討をするとしています。

醍醐地域からは今回400筆以上が提出されました。さらに多くの署名を集め、これまでのようにコミバスに気軽に乗れて、地域のつながりや経済の活性化を進めましょう。

### かわら版 テレビが報じない質問 (赤旗記事から)

「しんぶん赤旗」がスクープし、日本共産党の小池晃書記局長が1月28日の参院予算委員会で取り上げた内閣官房機密費問題。新聞各紙は小さく扱ったもののテレビは全く報じませんでした。

小池氏が菅首相を追求したのは、菅氏が官房長官当時、自身に支出した86億8千万円にのぼる官房機密費の使途。領収書がない"つかみ金"と言われるものです。小池氏は、菅氏が総裁選出馬を表明した昨年9月1日から首相に就任した16日間に使われた4,820万円について「総裁選のために使ったと言われても仕方がない」と質したのです。1日当たり300万円にのぼる"つかみ金"。「そのようなことは一切ありません」では済まされません。

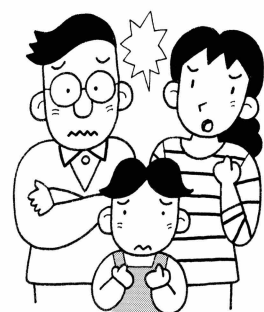


### コロナ禍に苦しむ市民を苦しめる 予算案 (予算内示)

2月3日に来年度予算案の概要が発表されました。予測していた通り、「500億円不足」は「236億円不足」と修正されました。ちなみに昨年度は「300億円不足が193億円」になっていました。

この間、西野市議が電話で市民の皆さんとの対話をする中でも、コロナ禍に苦しむ市民の生活の大変さはますます深刻です。こんな時こそ市民生活を応援する予算が必要です。しかし、国保事業への繰り出し金削減(18億円)、補助金・支援金削減(8億円)、業務の民営化・委託化等で職員削減88人(7億円)、職員給与減(14億円)、その他道路工事の見直しや被災者住宅再建支援制度の独自適用廃止等々、2021年度から2023年度の3年間を集中期間と位置付けて、市民サービス削減方針を出しました。

日本共産党は見直すべきは市民サービスではない。コロナで財政が大変だと災害便乗型の市民負担増は許さない立場で議論を進めます。



ぜひ、お読みください

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん **赤旗**

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

困ったときは…  
日本共産党の生活相談所へ

毎週月・水・金曜日

午前10時から午後5時

まずはお電話ください!!

☎ 621-6717